

地域探究プログラムの魅力とは？



コミュニケーション能力が身につく！

大勢の人の前であなたの想いを発表する場があります。ご安心ください。**発表前に伝えたいことをわかりやすく表現**することを学びます。また、地域の方々のお話の中で、**相手の意見に耳を傾け、その言葉の意図や本心を正しく汲み取る力**を身に付けることができます。



将来を考える出会いがある！

地域で活躍する“**大人たち**”との**出会い**があります。また、全国で様々な活動に取り組む“**仲間**”との**出会い**もあります。そんな出会いは、あなたの**将来めざすべき姿を明確にしてくれる**かもしれません。



自分のポートフォリオ（作品集）
を手に入れられる！

活動で取り組んだ内容を「**実践活動報告書**」にまとめます。**大学の総合型選抜や就職の面接**等で**大きな武器**になるでしょう。



制度HPはこちら！



活動イメージはこちら！



過去の発表の様子はこちら！



「**地域探究アワード**」で
自身の成果発表や
仲間との交流もできる！



参加対象：高校生（同様の学籍・年齢にある者含む）20名程度

参加費：4,200円程度（内訳：食事代、シーツ洗濯料、教材費、保険代等）

申込方法：Webフォームへ必要事項を入力してください。
<https://forms.office.com/r/aWMgQEXXmQ> →→→→



募集期間：6月27日（金）正午まで

その他：

- ・参加の詳細については、申込締切後にメールよりご連絡させていただきます。
- ・7/12～13については自然の家～関山駅間の送迎（無料）が可能です。

主催：



独立行政法人青少年教育振興機構

国立妙高青少年自然の家

後援：新潟県教育委員会

〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2 <https://myoko.niye.go.jp>

TEL: 0255-82-4321 FAX: 0255-82-4325 Mail: myoko-sen@niye.go.jp（担当：志賀・玉木）



独立行政法人青少年教育振興機構

国立妙高青少年自然の家



未来への
一歩を
踏み出そう



全国高校生体験活動顕彰制度

地域探究プログラム



オリエンテーション合宿 in 妙高



7月12日（土）～13日（日）@ 国立妙高青少年自然の家

7月20日（日）日帰り @ 上越市レインボーセンター

※上記2つの日程に参加いただきます。8/31はオンライン参加も可能です。



個人でも、友達と一緒にでも参加できる学びの場！

詳しくはコチラ⇒

オリエンテーション合宿はこんなことをします！

時 間	7月12日(土)	7月13日(日)	7月20日(日)
8:00~8:50		講義・演習②の続き	
9:00~9:50	9:20~ 受付 9:40~ 開講式	フィールドワーク② 「妙高市をよりよくするためには？」	受 付
10:00~10:50	講話 「地域づくりを感じよう」		講義・演習④ 「妙高からジブンゴトへ」
11:00~11:50	フィールドワーク① 「妙高の魅力を発見」	講義・演習③ 「探究de地域づくり2」	
12:00~13:00	<昼 食>	<昼 食>	<昼 食>
13:00~13:50	フィールドワーク① の続き	講義・演習③ の続き	講義・演習④ の続き
14:00~14:50			発 表 ②
15:00~15:50	移動・休憩	発表①	ガイダンス
16:00~16:50	講義・演習① 「妙高を掘り下げる！」	閉講式(16:30終了)	
17:00~17:50			
18:00~19:00	<タ 食>		
19:00~19:50	講義・演習② 「探究de地域づくり」		

3日間の研修で地元のために自分の得意を生かして頑張っている方々の姿が、自分の目にはとてもかっこよく写りました。この3日間の研修で見て感じたことは自分の考え方に明らかに変化を与え、ここでの経験を自分は一生忘れないものになりました。

他の人とコミュニケーションを取る力が高まったと感じました。地域のために活動したいと思っている高校生たちに出会えた事で、とても良い刺激を受けました。



江幡 崇(茨城県立水戸桜ノ牧高等学校)
障がい者が安心して楽しめる観光
～茨城県ひたちなか市へ高校生からの提言～

2023年に茨城県で観光客数が第1位になったひたちなか市で「障がい者の方が観光地を十分に楽しめているのか」と感じ、観光と障がい者に係る業種の方へのアンケートと報告会等を実施。

文部科学大臣賞



過去の参加者より

令和6年度の本事業参加者が
地域探究アワードにて
文部科学大臣賞を受賞！！

探究×体験

オリエンテーション合宿では、「『探究学習』の手法を用いて、地域をよりよくするにはどうしたらいいか？」というテーマで様々な取組みを実施します。そこでは、単なる講義だけでなく、「体験活動」を多く取り入れています。これにより、「主体的・対話的で深い学び」を促進させ、みなさんの学びをより大きいものにしていきます。これは、必ずみなさんの「生きた力」となり、未来の財産となります。地域と自分の未来をつなげる活動に挑戦してみませんか？



フィールドワークでは...

妙高市の魅力をより多くの人へ届ける！

妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会の取組みを体験

妙高では始める。
テレワークではじまる未来。



グリーン・ツーリズム推進協議会が



目指しているものは？

修学旅行・教育旅行で
多くの子どもたちを妙高へ

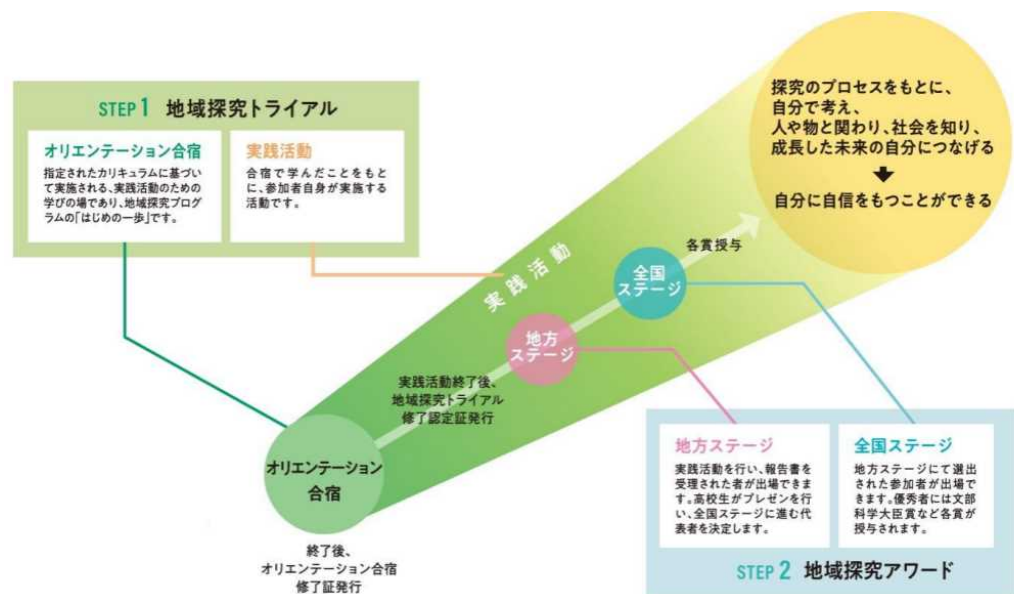


妙高Workationで「社員の癒し」「人材育成」「仕事の楽しさ」「仕事の集中」を

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」 オリエンテーション合宿 in 妙高

1. 趣旨

「地域探究プログラム」は高校生の体験を通じた成長を目指し、改訂された学習指導要領のキーワードである「探究」の手法を用いてよりよい地域づくり活動を実践することで学習を深める教育プログラムである。オリエンテーション合宿は、その「はじめの一步」として、ものごとを探究する姿勢、地域の魅力を発見する視点、課題に向き合う力などを育成し、合宿後の地域での実践活動を行う資質・能力を身に付けることを目的として実施する。講義の他、フィールドワーク等の体験活動を交え、「主体的・対話的で深い学び」につなげる。



※ 地域探究プログラムの概要図

2. 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

3. 後援 新潟県教育委員会

4. 期日 ① 令和7年7月12日（土）～13日（日） 1泊2日

② 令和7年7月20日（日） 日帰り

※ ①②両方の参加が必要です。

※ 遠方からの参加等の場合、②についてはオンラインでの参加も可能です。

5. 会場 ① 国立妙高青少年自然の家 及び 妙高市周辺

② 上越市レインボーセンター

6. 対象 日本在住の高校生及びそれに相応する学籍又は年齢にある者 20名程度

8. 講師 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会

妙高市と連携してハートランド妙高及び妙高ワーケーションセンターを運営し、修学旅行・教育旅行・企業研修の誘致や親子ワーケーションの実施など、妙高市の関係人口の増加等に取り組んでいる。

9. 申込

(1) 申込方法

直接フォームにご入力ください。

URL : <https://forms.office.com/r/aWMgQEXXmQ>



(2) 申込期限

6月27日（金）正午まで

(3) 参加決定

申込締切後、7月2日ごろを目途に参加決定の通知および詳細の案内をお送りします。

10. 持ち物

- ☐参加費 ☐保険証（コピー可） ☐筆記用具 ☐飲み物（必要に応じて）
☐小さなリュック（活動用） ☐傘（折り畳みも可） ☐歯磨きセット（コップも）※
☐バスタオル※ ☐タオル（汗ふき用、お風呂用※、洗顔用※） ☐ハンカチ
☐着替え※ ☐ビニール袋（洗濯物用※、ごみ用など） ☐常備薬（必要な方のみ）

※は、7月20日は不要

11. 参加費 一人あたり 4,200円程度（内訳：食事代、シーツ洗濯料、教材費、保険代等）

12. 日程及び内容（予定）

時 間	7月12日（土）	7月13日（日）	7月20日（日）
8:00～8:50		講義・演習②の続き	
9:00～9:50	9:20～ 受付 9:40～ 開講式	フィールドワーク② 「妙高市をよりよくするためには？」	受 付
10:00～10:50	講話 「地域づくりを感じよう」		講義・演習④ 「妙高からジブンゴトへ」
11:00～11:50	フィールドワーク① 「妙高の魅力を発見」	講義・演習③ 「探究de地域づくり2」	
12:00～13:00	<昼 食>	<昼 食>	<昼 食>
13:00～13:50	フィールドワーク① の続き	講義・演習③ の続き	講義・演習④ の続き
14:00～14:50			発 表 ②
15:00～15:50	移動・休憩	発表①	ガイダンス
16:00～16:50	講義・演習① 「妙高を掘り下げる！」	閉講式（16:30終了）	
17:00～17:50			
18:00～19:00	<夕 食>		
19:00～19:50	講義・演習② 「探究de地域づくり」		

※上記はおおよその時間予定となっております。詳細は参加決定時にお知らせいたします。

<内容詳細> ※内容や会場については変更になる場合があります。

事前（オンデマンド配信）

◆ガイダンス（35分）

⇒全国高校生体験活動顕彰制度の説明を行う。

【講師】 青少年教育振興機構職員・妙高青少年自然の家職員

1日目

◆講話「地域づくりを感じよう」（50分）

⇒地域づくりを実践している講師からの講話により、地域貢献活動を具体的に理解する。

【講師】 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会

◆フィールドワーク①「妙高市の魅力を発見」（150分）

⇒フィールドワークを通して、講師の想いや地域の特色など、様々な取組やその魅力を発見する。

【講師】 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会

◆講義・演習①「妙高を掘り下げる！」（100分）

⇒フィールドワーク①において参加者個人が感じた地域の魅力や課題について、感じたことを自由にグループ全員で共有する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆講義・演習②「探究 de 地域づくり」（100分）

⇒探究のプロセスの考え方を学び、フィールドワーク①で見聞きした取組や魅力をよりよいものにするために自分たちにできることを検討する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

2日目

◆フィールドワーク②「妙高市をよりよくするためには？」（150分）

⇒講義・演習②で考えたアイデアを講師に紹介し意見交換を行うとともに、その他の取組にも触れ、より有効なアイデアを考える。

【講師】妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会

◆講義・演習③「探究 de 地域づくり 2」（150分）

⇒フィールドワーク②での検証を踏まえ、参加者が互いの良さを生かしながら多面的・多角的に考察し、グループとして一番良いと思う解決策を思索し、発表①（グループ発表）の準備を行う。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆発表①（グループ発表）（50分）

⇒講義・演習②の成果として、より有効な活動（解決策）とその根拠についてグループ発表を行う。

【講師】妙高青少年自然の家職員

3日目

◆講義・演習④「妙高からジブンゴトへ」（150分）

⇒妙高で見聞きした取組やそれをよりよくするために自分たちで考えたことなどを総合的に踏まえ、自身の居住・通学する地域でどんな取組ができるかを思案し、発表②（個人発表）の準備を行う。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆発表②（個人発表）（50分）

⇒参加者が個人発表（振り返り、今後の実践発表の展望）を行い、全体に共有する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

◆実践活動のためのガイダンス（閉会式含む）（50分）

⇒実践活動を実施する上での安全管理や社会のルール、マナーを理解する。

【講師】妙高青少年自然の家職員

13. 集合・解散について

- (1) 集合 … ①令和7年7月12日（土）9：20～9：40 自然の家
②令和7年7月20日（日）9：30～9：50 上越市レインボーセンター
- (2) 解散 … ①令和7年7月13日（日）16：30 自然の家
②令和7年7月20日（土）16：00 上越市レインボーセンター

(3) 送迎（自然の家～関山駅）

迎え … 関山駅9：10 集合 → 自然の家9：25 到着

送り … 自然の家16：45 発 → 関山駅17：00 解散

※7月20日実施分については送迎はありません。現地集合・現地解散となります。

14. オリエンテーション合宿後の流れ（活動等の実施はすべて任意です）

（１）実践活動の実施

自身の居住または通学する地域をよりよくするための活動を実施します。実践活動の修了認定を受けるには５日以上実施することが必要となります。実践活動の実施にあたっては、自然の家職員が支援者となり、希望者を対象とした定期的な連絡会等を実施し、活動に対する指導や助言を行います。

（２）実践活動報告書の作成

実践活動の成果等を報告書にまとめます。報告書を提出することで、修了認定がされるとともに、地域探究アワードにエントリー可能となります。

【エントリーのための報告書提出期限：毎年１１月３０日】

（３）地域探究アワード

実践活動の成果発表の場。地方ステージと全国ステージが開催されます。最も優秀な取組みには文部科学大臣賞が授与されます。

【地方ステージ（関東甲信越）：１２月下旬から１月中旬ごろ @関東甲信越地区内国立青少年教育施設】

【全国ステージ：２月中旬ごろ @国立オリンピック記念青少年総合センター】

15. 個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。

16. その他

- ・当事業参加中に発生したけが等については、当所において応急手当及び病院への搬送を行います。
- ・参加申込後の欠席の場合は、７月９日（水）正午までに連絡してください。それ以降の欠席につきましては、キャンセル料を請求させていただく場合があります。
- ・ご質問等は、担当までにお問い合わせください。

【本件担当】

国立妙高青少年自然の家

担当：志賀・玉木

〒949-2235 新潟県妙高市大字関山 6323-2

【電話】0255-82-4321 【Mail】myoko-sen@niye.go.jp